

Secret in the Closet

乙女の花園、聖ミシェル学園を舞台に繰り広げられる、謎と怪異が交差する“^{ミステリ}秘密”。異色の学園ミステリに、背徳の街の名探偵が挑む。

(掲載日：2015.6.30)

プレアクト情報

PRE-ACT INFO

■シナリオ基本情報

▼作者

生方一寛 (twitter : @na_ma3)

▼プレイヤー人数

4人

▼想定プレイ時間

4～5時間

▼シナリオタグ

学園ミステリ、ストリート、アスラル

●このシナリオについて

本シナリオは学園を舞台としたミステリものという、一風変わった内容だ。他にはない独特なシチュエーションを楽しめるが、キャストの立ち位置自体はスタンダードなものとなっている。手軽にN◎VAの非日常を存分に楽しむことが出来るだろう。

●シナリオレギュレーション

本シナリオの想定レギュレーションを以下に記載する。使用するデータの変更やRLが調整を行った場合、改めてレギュレーションを提示すること。

▼使用経験点

0～50点程度

▼達成値制限

敵ゲストは最大で達成値が22～23程度だが、キャストの達成値は制限しない。

▼スタイル制限

特になし。

■アクトトレーラー

キャスト作成の前に、以下のアクトトレーラーを読み上げること。

聖ミシェル学園。そこは、少女たちの笑顔と囁きが溢れる、東京新星市きっての乙女の園だ。いつも、ならば。

それが今は恐怖の^{あつぽ}坩堝。
脳髄を抜かれた死体、消えた乙女、そして見え隠れる怪人たち。怯え震える花園に、ひとりのフェイトが降り立った。

ああ、けれど、名探偵。
あなたも^{あつと}屹度気を付けて。
美しい薔薇には棘があるように。
可憐な乙女には、必ず秘密があるものだ。
例えば、そう。
あなたの後ろ、クローゼットの中に――。

トーキョーN◎VA THE ACCELERATION
『Secret in the Closet』

運命の扉の向こうには、秘密と怪物が潜んでる。

■キャスト作成

プレアクトシート（アクトトレーラー、ハンドアウトなど）を参考にキャストを作成すること。

●クイックスタート

本シナリオでは、以下のサンプルキャストを使用することを推奨する。

『①フェイト』：不屈の探偵（『TNX』 p82）

『②レッガー』：仁侠剣士（『TNX』 p96）

『③イヌ』：夜の猟犬（N/C オリジナル）

『④カタナ』：鋼の人狼（『TOS』 p51）

●必要な神業

本シナリオでは、ゲストが使用する即死系神業だけでキャストが死亡するのを防ぐため、キャスト全員で2個以上の防御系神業を所持することを推奨する。

また、『^{トランス}真実』については使用を想定したシーンが存在する。

●主に使用する技能

本シナリオの情報収集で主に使用する技能は〈社会：ストリート、警察、アストラル、社交界〉などである。

●聖ミシェル学園

斑鳩にある真教系ミッションスクール。高い教育水準とモラル育成のカリキュラムなどから上流階級に評判がよく、この学園に入ることは一種のステータスとなっている。

現在の版ではまだ世界設定に記述がないが、旧版 The Detonation のサブリメント『ストレイライト』に記載がある。必要な情報はシナリオ中に説明されるので安心して欲しい。

■キャスト間コネクション

以下の順番で取得すること。

『①フェイト』→『②レッガー』→『③イヌ』→『④カタナ』→『①フェイト』

アクトハンドアウト

各キャストには右記の設定が推奨・あるいは追加される。
キャスト作成時によくプレイヤーと相談すること。

- ①『フェイト』：私立探偵
- ②『レッガー』：河渡連合の構成員
- ③『イヌ』：ナイトハウンド（機動捜査課からの出向でも可）
- ④『カタナ』：荒事屋、酒呑童子の友人

①推奨スタイル：フェイト

SCENARIO HANDOUT

コネ：クラウド・イワサキ

推奨スト：理性

人探しの依頼には理由が付きものだ。特に、警察には言えない類の。行方不明の少女、クラウドを探してほしい、という依頼も例に漏れずそのタイプのものだった。

消えたのはよりによって生徒会長。人望もあり、恨みを買う心当たりはない。岩崎に所縁のある家の令嬢で、警察に届けられればその名に傷がつく恐れもある。秘密裏に探し出し、事件の解決を図りたい……なるほど探偵向きの依頼で、つまりは、キミの出番だ。

【PS：クラウドを探し出す】

②推奨スタイル：レッガー

SCENARIO HANDOUT

コネ：二階堂杏璃

推奨スト：生命

連合の古参、二階堂組の杏璃お嬢さんの様子がおかしいのを知ってるか。キミを呼び出した白夜が切り出した言葉は、つまりそれを調べる、という意味に他ならない。二階堂組は武闘派として知られ、現会長を支持している。つまり白夜にとっては確保しておきたい手駒であり、ゴタゴタがないに越したことはない。そこまでは読めたが、白夜の次の一手は想定外だった。まさか、キミが学園に潜入できる身分を用意しているとは。

【PS：二階堂杏璃の素行を調査する】

③推奨スタイル：イヌ

SCENARIO HANDOUT

コネ：ジャンヌ・デファンス・ヴェイユ

推奨スト：外界

聖ミシェル学園の敷地内で謎の死体が発見された。脳髓が丸ごと消失している被害者は、生徒でないことは確認されたが身元はいまだ不明。

それだけならただの猟奇殺人だが、司法解剖の結果アヤカンの関与が浮上。刑事課より先に、霊的事件としてキミたちナイトハウンドに招集がかかった、というわけだ。隊内で肩身の狭いキミたちが名を上げるチャンスでもある。キミは勇んで現場に向かった。

【PS：霊的猟奇殺人事件を解決する】

④推奨スタイル：カタナ

SCENARIO HANDOUT

コネ：酒呑童子

推奨スト：感情

酒呑童子。強大なアヤカンにして現在のN◎VAで最も警戒されるべき人物の一人である彼はなぜかキミのことを気に入り、同格の友人として遇している。

そんな彼が、ある日酒を片手にキミを訪ねてきた。杯を傾けながら言うには、最近羅生門のメンバーが数人消えており、幹部どもが殺気立っているらしい。誰が消えても構わないがお前が消えてはつまらない。嚙く彼の横顔は騒ぎを望んでいるようにも見たが、そうなる前に火種を消し、酒飲み話の種にするのがキミの仕事というわけだ。

【PS：酒の肴を増やす】

RL用テキスト

◎ ◎ ◎
TXT4RULER

■ストーリー

創立30周年ほどの真教系ミッションスクールである聖ミシェル学園は、その歴史の浅さにもかかわらず上流階級からは子女を通わせることが一種のステータスとして扱われている。

平和な乙女の園であるこの学園に、しかし今危機が迫ろうとしていた。“聖ミシェルの白薔薇”のふたつ名で知られる生徒会長、岩崎系列の財団令嬢でもあるクラウド・イワサキがヘイロン・ケミカル^{ジュン}の“仕立屋”針に狙われたのだ。

“仕立屋”針はそのハンドルの通りヘイロン・ケミカルCEOである“毒蛇”アンジェリーナ・ショーの“着替え”⁽¹⁾を用意する専門のエージェントであり、クラウドはその“着替え”として目を付けられたのである。針は脳を喰らう羅生門のアヤカシ、イシリッドのウルザと手を組み、クラウドを得んと活動を開始。しかしながら彼女の危機に対し、学園ではライブ

ルとして目されていた二階堂組の娘、“学園の黒薔薇”二階堂杏璃に危ういところで救出され、匿われることとなった。

二階堂杏璃は詳しい事情が判らないながら、彼女が危機にあることを感じ、その身柄を匿いながら沈黙を守るが、今度は杏璃自身に針とウルザの魔手が迫ろうとしていた。

本シナリオはそれぞれの理由から聖ミシェル学園に集ったキャストたちが、針とウルザの陰謀を暴きだし、クラウドと杏璃を護りきることができれば終了となる。

アンジェリーナの“着替え”
【BTD】p29を参照のこと。

■クライマックスの条件

「●イベント7：着替え」が終了し、キャストたちが誘拐された【二階堂杏璃の行方】を調査したらクライマックスフェイズへ。

オープニングフェイズ

◎ ◎ ◎
OPENING PHASE

●オープニング1：消えた少女

シーンプレイヤー：『①フェイト』

登場：不可

◆解説

『①フェイト』のオープニング。聖ミシェル学園の学園長より、行方不明となったクラウド・イワサキの捜索を依頼されるシーンである。

◆描写

聖ミシェル学園、貴賓室。学園長直々の依頼でやってきたキミの前に、ふたりの人間が座っている。

ひとりキミを呼び出した本人、聖ミシェル学園長。そしてもうひとり、仕立てのいいスーツを着た金髪の男性。

エリオット・イワサキと名乗る彼は、その名の通りイワサキ系財団の理事長だという。

▼セリフ：エリオット・イワサキ

「この度は御足労いただきありがとうございます。『①フェイト』さんと仰いましたか。腕のいい探偵とお聞き及びします」

「貴方に依頼したいのは、行方不明になった我が娘、クラウドの捜索です」

「警察に届ければ、と言うご意見もありでしょうが、できれば大事にならないうちに処理したい——こちら

の話で恐縮ですが、あの年頃の娘にこの類の話は、たとえそれが噂でも評判を落とすことになりかねません」

「学園卒業後に娘がどうするかはまだわかりませんが、経営を学ぶにしろ然るべきところに嫁ぐにしろ、無用な疵は避けたいところですから」

「前金はこちらに（1 ゴールドを机の上に置く）。無事に娘を取り戻して下されば、相応の額をご用意させていただきます」

▼セリフ：学園長

「学園としても親御さんの意向を汲みたいと思っております」

「クラウドさんは本学園でも生徒会長を務めておりまして、生徒からの評判も良く、誰かに狙われるような心当りは……」

◆結末

「た、大変です学園長！ 敷地内で、し、し、し、したっ、死体が……！」

『①フェイト』が依頼を受けたところで、教頭が駆け込んでくる。『①フェイト』に5報酬金、および【PS：クラウドを探し出す】を渡してシーンを終了。

●オープニング2：脳髄消失殺人事件

シーンプレイヤー：『③イヌ』

登場：不可

◆解説

『③イヌ』のオープニング。聖ミシェル学園で見つかった、脳髄が消失した死体に関する調査を命じられるシーンである。

◆描写

新皇帝大学医学部、解剖室。そこに今、キミはナイトハウンド隊長であるジャンヌ・デファンス・ヴェイユに呼び出されてやってきていた。

解剖台の上に横たわっているのは、聖ミシェル学園で発見された、と言う死体だろう。

そして、キミとジャンヌがここにいる、と言うことは、今回の事件は霊的犯罪である、と言うことだ。

▼セリフ：ジャンヌ・デファンス・ヴェイユ

「ご苦勞。早速だが、本題に入ろう。この遺体だが、大きな外傷は見当たらないにもかかわらず——脳髄が消失している」

「そのため IANUS のデータ保存部も消失しており、ID は不明。学園の生徒ではない……そもそも男だからな。現在身元については調査中だ」

「解剖の結果、頭蓋内に脳漿ではない液体が検出され、検査の結果データベースにある生物のものではない疑いが濃厚となった」

「わかるな。本件にはアヤカシの関与が疑われる、と言うことだ。おまえには、本件の調査を命じる」

◆結末

「知っていると思うが、遺体発見現場は聖ミシェル学園だ。まずはその周辺からあたってみろ」

そう言って、ジャンヌは部屋を出て行った。

『③イヌ』が調査を開始したら、調査費として3報酬点と【P S：霊的猟奇殺人事件を解決する】を渡してシーンを終了。

●オープニング3：Midnight Sun

シーンプレイヤー：『②レッガー』

登場：不可

◆解説

『②レッガー』のオープニング。河渡白夜に呼び出され、二階堂組の二階堂杏璃を調べるよう依頼されるシーンである。

なお、^{アンタッチャブル}《不可触》で用意する身分証は教員を想定しているが、女子高生相当の年齢であれば学生のものとしても面白いだろう。

◆描写

アサクサの片隅にある喫茶店、『トップ』。

いつものとおり白いスーツを着こなした河渡白夜は、ボックス席でキミを待っていた。

向いに座ると、待っていたという代わりにナポリタンを食べる手を止め、フォークを皿の上に落とした。一見粗雑に見える動作だが、計算され尽くしたものなのだろう。スーツには染みひとつない。

▼セリフ：河渡白夜

「よう、『②レッガー』。わざわざ悪いな。ちよいと頼みがあってな」

「二階堂組の杏璃お嬢さんを知ってるか。ああ、聖ミシェルに通ってる正真正銘のお嬢さん、だ」

「このお嬢さんの様子が最近おかしいらしくてなあ。どう思う？」

「二階堂組は連合でも武闘派で知られてる。会長の地盤を固めるには必要な勢力だ。不安定にはなって欲しくない、と思わないか」

「そこであんだだ」

◆結末

「俺にも知り合いはいないわけじゃないが、聖ミシェルに入れる人間、なんてのは殆どいなくてなあ。譲りに譲ってあんだがギリギリ、だな」

白夜はそう言って、テーブルの上に数枚のシルバー、そして1枚の身分証を置いた。

「これで学園に入れる。手間だが、よろしく頼むぜ」

それは紛れもなく、聖ミシェル学園の教師（学生）であることを表す身分証だった。

『②レッガー』が依頼を受けたら、5報酬点、および【P S：二階堂杏璃の素行を調査する】を渡してシーンを終了すること。

●オープニング4：酒吞来訪

シーンプレイヤー：『④カタナ』

登場：不可

◆解説

『④カタナ』のオープニング。酒吞童子が『④カタナ』のもとを訪れ、酒を飲みながら部下の行方不明について語るシーン。

◆描写

「『④カタナ』。いるんだろう」

訪いを告げる声。直後、断りもなく入ってきた酒吞童子は、片手に酒瓶を掲げていた。

▼セリフ：酒吞童子

「おう、呑まねえか」

「……着代わりにな。くだらねえ話を聞いた。最近、うちで何人か姿を消してるやつがいるらしい。斑鳩のあたりだ」

「いつものこと、と言えはいつものことだがな。雑魚が何人消えようが気にはしねえが、お前が消えたら面白くもないからな」

「ちゃんといて安心したぜ。……おっと、酒が切れたか。今日は仕舞いだ」

◆結末

「また来る。今日は俺が話した。今度はお前が話す番だ、『④カタナ』。楽しみにしてるぜ」

そう言って、酒吞童子は去ってゆく。

『④カタナ』が酒吞童子を見送ったら、【P S：酒の肴を増やす】を渡してシーンを終了。

No Image

▼設定

「ごきげんよう、みなさま。お茶を如何ですか？」

岩崎系財団理事長の娘にして、聖ミシェル学園生徒会長。

誰にでも分け隔てなく接する優等生で、人を疑う、とすることをしないお嬢様。

“学園の白薔薇”の異名を持つ。

▼神業

使用しない

■クラウド・イワサキ

エグゼク◎（エキストラ）

No Image

▼設定

「ごきげんよう……オイ、おまえは黙ってろ。いいな？」

河渡連合二階堂組長の娘。ヤクザの娘であることを隠し、聖ミシェル学園に通っている。

学園内では凛とした令嬢の仮面をかぶっているが、実際には友情と義を重んじる女傑である。“学園の黒薔薇”の異名を持ち、クラウドと学園内の人気を二分する。

▼神業

☐ファイト! ☒不可触 ☐とどめの一撃

クライマックスでキャスト側が不利な場合、《ファイト!》を使用してもよい。

■二階堂杏璃

ミストレス◎、レッガー●、カブトワリ

リサーチフェイズ

RESEARCH PHASE

●イベント1：セーラー服と任侠道

条件：リサーチフェイズの第1シーン

シーンプレイヤー：『②レッガー』

登場：〈社会：企業、社交界、メディア〉／SR：グリーン

◆解説

『②レッガー』が聖ミシェル学園で二階堂杏璃に発見されるシーン。

杏璃は自分がヤクザの娘であることを隠して聖ミシェル学園に通っており、それを脅かしそうな『②レッガー』に釘を刺す。

なお、このシーンで「様子がおかしいこと」について問われても彼女は何も答えない（これは杏璃自身が使用した《不可触^{アンタッチャブル}》の効果である）。

また、彼女は『②レッガー』が聖ミシェルに来た目的については察していない。これはプレイヤーに伝えてよい。

◆描写1

「では『②レッガー』先生（さん）、私がまず学園をご案内しましょう」

聖ミシェルを訪れて早々、『②レッガー』は教頭の案内で学園内を巡ることになった。

時刻は昼休み。前日に敷地内で身元不明の遺体が発見されたこともあり、ほとんどの部活は休みとすることが決定しているが、授業自体は平常通り行われている、と言う。

案内半ばで、キミは廊下の向こう側から、今回の調査の対象である二階堂杏璃が歩いてくるのを発見し……そして、キミも発見された。

▼セリフ：二階堂杏璃

「（驚いた顔をしたのち、つかつかと近寄ってくる）……ごきげんよう、教頭先生。こちらの方は？」

「『②レッガー』さん……そうですか。そうそう、教頭先生、先程学園長が探しておられました」

「案内でしたら私が引き継ぎますわ。こちらと言うことは、3号棟から先ですね？」

▼セリフ：教頭

「あ、ああ、二階堂さん。こちらは新しく学園にいらった『②レッガー』先生（さん）です」

「え？ いや、し、しかし案内の途中で……」

「ああ、そう、そうですか。それならお願いします。『②レッガー』先生（さん）、こちらは二階堂杏璃さん。彼女なら安心して任せられますので、私はこれで」

◆描写2

教頭が去った直後、人影のない場所までやってきた杏璃は先程までの楚々とした表情（ミストレス◎）をかなぐり捨て、厳しい目でキミを見据えた（レッガー◎に変更）。

「『②レッガー』先生（さん）ね……間違いない、アంత、河渡組の差し金だろ」

▼セリフ：二階堂杏璃

「なんでまたこんなところに来てんだよ……河渡組は何考えてんだ」

「まあいい。アంతの理由は知らないが、アタシはここじゃヤクザだってことは秘密にしているんだ。それがバレルような真似はしてくれるなよ」

◆結末

「……コホン。案内する場所はこのくらいでしょうか。では、『②レッガー』先生（さん）。ごきげんよう」

そういうと、杏璃は『②レッガー』を残して去ってゆく。シーンを終了すること。

●イベント2：Monster Monster !

条件：【消えた羅生門メンバー】について調べた

シーンプレイヤー：『④カタナ』

登場：〈社会：ストリート〉／SR：レッド

◆解説

消えた羅生門メンバーについて調べた『④カタナ』が、その一人に出逢うシーン。

彼は『④カタナ』に助けを求めた後、即座に苦しみ始め襲いかかってくる。トループとの戦闘となる。

敵は「河渡連合系ヤクザ（TOSI45 ベージ）」が20人×1体。キャストから近距離に配置すること。

なお、戦闘不能になると完全死亡する（既にウルザによって殺害されており、現在はウルザの意のままに操られる生ける死体である）。

戦闘終了後、【羅生門メンバーの死体】について調べられるようになる。

◆描写

行方知れずとなった羅生門メンバーについて調べていたキミの前に現われたのは、ストリートをふらふらとさまよう一人の男。

その顔は、間違いなくなくなった末端メンバーのものだった。

「あ、あんた……確か、ヘッドの……」

その直後、男は突然うめき声をあげ苦しみ始めた。

▼セリフ：下部構成員

「ぐ、ぐああアアアア!? タ、タスケ……（ガクリ、と首が落ち、即座に正気を喪った顔を上げる）」

「……ルルウウウウ!!（襲いかかってくる。カット進行へ）」

◆結末

倒れた男は、間違いなく死んでいた。間違いなく、単なる行方不明、と言うわけではなさそうだ。

●イベント3 : Lady Nobody

条件:【学園の噂】について調べた

シーンプレイヤー:【①フェイト】

登場:〈社会:企業、社交界〉 / SR:グリーン

◆解説

聖ミシェル学園新聞部の少女と会話をするシーン。
なお、少女はエキストラであり、プレイヤーにこのことは伝えてよい。

彼女は学園の噂話の中で、“誰でもない少女”と“秘密のクローゼット”については最近追加された物であること、更に誰でもない少女については自身が目撃したことを話す。

本シーン終了後、【誰でもない少女】についてリサーチすることが可能となる。

◆描写

聖ミシェル学園新聞部室。たくさんの写真やメモ書きが散乱し、段ボールが積み重なったその部屋は、少女たちの花園というイメージは程遠い。

「ども、アオバです！ 恐縮です！」

応接テーブルの上を雑に片付け、なんとかスペースを作った部長だという少女は、そう言ってキミを出迎えた。

▼セリフ: 新聞部長

「ああ、噂話のことですか。先生からあんまり言わないように、って釘刺されてるんですよえ」

「いや、アオバが見たのは、“誰でもない少女”ってやつなんですけどねえ」

「暫く前の夜、教室に忘れ物をして寮から教室棟に戻ってた時なんですけど……あ、アオバ寮生なんですよ」
「その時、生徒会室から出てくる人を見かけまして、いえ、白薔薇さまじゃないですよ。見たことない子でしたねえ……」

「アオバ、こう言う部活してますから、学園の生徒名簿には大体目を通してまして。でも、知らない子だったんですよえ……ああ、これが噂の“誰も知らない少女”かなーって」

「転校生じゃないのは確認したんですけどね」

「先生から釘を刺されてる理由、ですか？ ほらア、最近学園内で死体が見つかったじゃないですか。アレは男の人だったんでいいんですけど、仮に制服をどこから調達した女の子が潜入して殺されたり、なんてことがあったら面倒だから……じゃないですかね」

「多分ですけど、アオバ以外にも何人か見た子がいると思いますよ。実はあの話、出回り始めたのは本当に最近なんですよえ」

◆結末

「あ、ところであの死体、結局誰だったんです？ 知ってたら一言いいですか？」

彼女から聞けることはこの程度しかないようだ。

シーンを終了すること。

●イベント4 : Dead Rising

条件:【羅生門メンバーの死体】について調べた

シーンプレイヤー:【③イヌ】

登場:〈社会:警察〉 / SR:イエロー

◆解説

【③イヌ】にジャンヌから連絡が入る。

脳髓が消失した死体が自分で歩いて消えうせた、と言われ、搜索を命じられる。

本シーンの終了後、【消えた死体】についてリサーチできるようになる。

◆描写

キミのポケットロンにコールが入る。

発信主はジャンヌ。何かと出れば、彼女の珍しい、焦ったような声が聞こえた。

▼セリフ: ジャンヌ・デファンス・ヴェイユ

「【③イヌ】か。緊急事態だ。あの脳髓が消失した死体だが……消失した」

「なんと言っているかわかんが、目撃者によれば……死体が自分で歩いて消えた、そうだ」

「死人が動く、などと言うことがあっては街中がパニックになりかねん。至急搜索し、可能ならば確保してくれ」

「動いたならば理由があるはず。もう一度調べれば、犯人の正体もつかめるかもしれん！」

◆結末

「頼んだぞ！」

そう言ってジャンヌからの連絡は切れる。

シーンを終了すること。

●イベント5 : 君臨すれども統治せず

条件:【“仕立て屋” 針】の情報を調べた後、【④カタナ】

が酒吞童子に会うことを希望した

シーンプレイヤー:【④カタナ】

登場:〈社会:ストリート〉 / SR:レッド

◆解説

敵が八鬼衆であることが発覚したのち、酒吞童子に会うことを希望したら発生するシーン。

酒吞童子は事情を説明されたのち、【④カタナ】にウルザを倒すことを許可する。

◆描写

どうやら、消えたウルザはヘイロンと手を組んでいるようだ。

そのことを酒吞童子に話すと、彼は笑ってキミに盃を差し出した。

▼セリフ: 酒吞童子

「最初に言ったろうが。雑魚が何人消えようが気にしねえが、お前が消えたら詰まらん、ってな」

「八鬼衆なんて、俺が決めてるわけじゃねえ。周りの奴が勝手に作ってるだけだ……好きにしるよ」

◆結末

「おい、『④カタナ』」

呼ばれて振り向けば、酒呑童子はニヤリ、と口の端を上げてこう言った。

「俺を、失望させるなよ」

『④カタナ』が応えたらシーンを終了する。

●イベント6：秘密のクローゼット

条件：二階堂杏璃に《^{トゥルース}真実》を使用した。

シーンプレイヤー：『①フェイト』

登場：〈社会：企業〉／SR：グリーン

◆解説

二階堂杏璃に《^{トゥルース}真実》を使用すると発生するシーン。

杏璃はアサクサ倉庫街にある“クローゼット”と呼ばれる二階堂組の武器倉庫にクラウドディアを匿っていることを告げる。

◆描写

二階堂杏璃を訪ねると、部活が終わったところか、弓道着でキミを出迎えた。

「いったい何の御用ですか」

口調こそはっきりとしているが、その表情には面倒事が重なった困惑が溢れていた。

▼セリフ：二階堂杏璃

「私も暇ではないのですが、先生方からも協力するようには言われていますし……」

(※《^{トゥルース}真実》を使用する)「……そこまで予測しているのであれば、もう隠すことはできませんか。……ああいや、これももういいか。クラウドディアならアタシが匿ってる」

「ちょっと前に、妙な連中に襲われてるのを見つけてな。その時は追い払ったんだが……」

「どうもただのチンピラじゃない気がしてな。厭な予感がしたんで、暫く隠れてもらうことにしたんだ。……まあ、アイツは正真正銘のお嬢様なんで、説得するのにちょいと骨は折れたが」

「その直後にあの死体騒ぎだ。判断は正解だったと思ったが、ちと言い出せなくてなあ」

◆結末

「そろそろ差し入れも必要な頃だ。なあ探偵さん、悪いが、話ついでにバンでも持って行ってやってくれないか。アタシは用事があるって行けないんだが……『②レッガー』ってやつがいる。ソイツと一緒に行けば話が通るようにしておくよ」

そういうと、杏璃はこれでいいだろ、と言って去っていく。どうやら、他の学校との打ち合わせがあるようだ。

「“クローゼット”のアドレス」を『①フェイト』に渡す。シーンを終了すること。

●イベント7：塔の中のラブンツェル

条件：「“クローゼット”のアドレス」へ向かった

シーンプレイヤー：『②レッガー』

登場：〈社会：ストリート〉／SR：イエロー

◆解説

二階堂組の“クローゼット”にクラウドディア・イワサキを訪ねるシーン。

彼女の無事を確認することができ、事件は解決、と思いきや、今度は杏璃が誘拐されたことが伝えられ、シーンが終了する。

◆描写

アサクサの片隅にある倉庫街。二階堂組の“クローゼット”はその外れに、他の倉庫に隠れるように建っていた。

入口までの道は迷路のように入り組んでおり、杏璃の案内がなければ決してたどり着けなかったろう。

「……ああ、お嬢から話は聞いています。お嬢のご友人を迎えにいらしゃったんで？」

見張りに立っていたのだろう組員の言葉を受けながら中に入ると、山と積まれた重火器の中、安物のソファに座り優雅に紅茶を飲む少女の姿があった。

▼セリフ：二階堂組組員

「奥にいますよ。いや、俺らもあの手の女の子の相手は疲れますわ。お嬢はよくやってまきあね」

▼セリフ：クラウドディア・イワサキ

「(キャストたちに気付き) ごきげんよう、皆様。あの、失礼ですが……」

「『①フェイト』がいるなら) まあ、探偵さん！ 私をお探しに？ それはそれは、お手数をおかけしまして申し訳ありません」

「……ええと、他の方は杏璃さまのお知り合い、ですか？ ああ、食べ物を持ってきたくださったのですね！ ありがとうございます」

「最近出していたくヤオヨロズの食べ物、どれも珍しくて嬉しいですよ」

「ところで、わたくしはいつまでここにいればよろしいのでしょうか。そろそろ皆さんにご心配をかけているのでは、と思うのですが……」

◆結末

クラウドディアがさらに何かを続けようとした直後、外が騒がしくなり、組員が駆け込んでくる。

「姫さんは無事か？！ ……ならよかったが、いや、よくねえ！ こ、今度はお嬢が攫われた！」

シーンを終了すること。

●イベント8：子供部屋の妖精たち

条件：「●イベント7」のあと、「【針】」の情報が開示
シーンプレイヤー：ルーラーシーン

登場：不可

◆解説

針とウルザが会話を行なう。シーンの最期に、“枢”によって二階堂杏璃が誘拐される。

本シーンの終了後、【杏璃の行方】が調べられるようになる。調査を行なったらクライマックスへ。

◆描写

どこかの部屋の中。

どこか剣呑な雰囲気を感じた少女——ヘイロンの
「ワーカー」、「仕立て屋」針だ——が首元にマフラーを
巻いた少年に話しかけている。

「まったく、あなたのせいで面倒なことになってしま
いましたよ？ ……まあ？ あなたを引き入れた
おかげで私の仕事は大大分楽になりましたから？ こ
のくらいは保証の対象内ではありませんか？」

▼セリフ：針とウルザの会話

(ウ)「そんなこと言ったら、まさか男は使わないな
んて思わないでしょ」

(針)「最初に説明したはずですね？ 必要なのは見目
麗しい“着替え”だけです？」

(ウ)「だから、ボクも反省して食べかすはちゃんと動
かしらってば。まあ、捕まっちゃったけど」

(針)「そうですね？ おかげでより面倒なことになっ
たようですよ？ 此処もそろそろ引き上げ時ですか
ね？」

(ウ)「悪かったよ。それで、これからどうするんだい」

(針)「手ぶらで帰るのもなんですよ？ せっかくです
から、あの黒薔薇の方を頂いて帰ることにしましょ
う？」

(ウ)「ああ、あの子もおいしそうだね。食べていい
んだらう？」

(針)「きちんと綺麗にしていなければ？ 問題あり
ませんよ？ まあ、CEOが気に入らなければ？ この
“服”のように私が着てもいい訳でしょ？」

(ウ)「趣味が悪いよなあ、ニンゲンは」

(針)「お褒めに与り恐悦至極ですね？ (リモコンを
取り出し、モニタを付けると、そこには道を往く杏璃
が写っている) …… “枢”？ そちらはどうです？」

◆結末

「——問題ない、針。目標を補足した。ミッション
スタートだ」

(画面に映るのは杏璃。そこへ近づき、〈ピックアップ〉
で同乗状態に。更に《脱出》^{エクソダス}を使用。エンジン音が高
らかに響き、通信が切れる)

「それでは？ こちらも準備をしましょうかね？」

“針”の顔が邪悪に歪んだところを写し、シーンを
終了する。

■情報項目

リサーチフェイズ開始時に調べることが出来る情報
項目は以下のとおり。

『①フェイト』：クラウド・イワサキ、脳髓消失
殺人事件

『②レッガー』：脳髓消失殺人事件

『③イヌ』：二階堂杏璃

『④カタナ』：消えた羅生門メンバー

◆クラウド・イワサキ

〈社会：企業、社交界〉

10 聖ミシェル学園生徒会長。アーコロジ外に拠
点を持つイワサキ系財団理事長の娘で、金髪碧
眼の少女。品行方正、才色兼備で知られる才媛。
現在行方不明で、『①フェイト』にその捜索が
依頼されている。身代金などの要求はなく誘拐
ではないと考えられ、トラブルに巻き込まれた
と思われる。

12 その容姿から“聖ミシェルの白薔薇”と呼ばれ、
学園内に信奉者が多いことで知られる。どん
な相手にも分け隔てなく接する人格者であり、
恨みを買うような人柄ではない。

14 しかし、【学園の噂】では、“聖ミシェルの黒薔
薇”と並び称される【二階堂杏璃】とはその信
奉者同士の小さなめめ事もあり、関係がよくな
い、とされる。

15 行方不明になる直前、所要で出た学園外で【ち
んぴら風の男】に話しかけられているのを目撃
されている。

◆脳髓消失殺人事件

〈社会：ストリート、警察〉

10 聖ミシェル学園敷地内で見つかった身元不明男
性の遺体。脳髓がIANUS データ集積部ごと消
失しており、身元が不明となっている。なお、
頭蓋内から【アヤカシの体液】が発見され、霊
的殺人事件と判断された。担当官は『②イヌ』

12 服装などから【ストリートギャング】の一員で
はないかと考えられるが、Xランク市民である
可能性もあり、身元の照会には時間がかかると
思われる。

15 検査の結果、血液から【正体不明のドラッグ】
が発見された。ハウンドのDB^{データベース}にはないもので
あり、新型違法薬物と考えられる。

◆二階堂杏璃

〈社会：ストリート、社交界〉

10 聖ミシェル学園総合弓術部(弓道、アーチェリー
などが集合した部活動)部長。黒髪黒目の少女。
凛としたその佇まいと容姿から“聖ミシェルの

黒薔薇”と呼ばれ、学園内に信奉者が多いことでも知られる。

- 13 【学園の噂】では、“聖ミシェルの白薔薇”と並び称される【クラウド・イワサキ】とは信奉者同士の小さなめ事もあり、関係がよくない、とされる。
- 15 学園外で【ちんぴら風の男】に話しかけられているのを目撃されている。

◆消えた羅生門メンバー

〈社会：ストリート、警察、アストラル〉

- 12 消えたのは羅生門メンバーと言ってもほとんどが下層のメンバーである。ストリートの住人がほとんどで、突然姿を消すことは日常茶飯事のため、通常ならば誰も気にしない程度の出来事だ。
- 14 それが羅生門内でも酒呑童子の耳に入るほどの問題になっているのは、新参ながら強い力を持ち八鬼衆の一人とされる【ウルザ】と言う少年が姿を消していることによる。なお、消えた下層構成員も、ほとんどがウルザの部下だ。

◆学園の噂

〈社会：企業、社交界〉

- 11 多くの学校と同じように、聖ミシェル学園にも生徒たちの間で囁かれる噂は多い。白薔薇と黒薔薇の不仲、真夜中に歌うピアノ、存在しないはずの少女、クローゼットの怪物などなど、そのほとんどは他愛無いものであり、友人の友人、程度で目撃者が消えうせる。
- 14 だが、噂話の中には実際に目撃者を迎れるものがあるようだ。それは、新聞部の部長が自身で見聞きたものだという。アドレス入手。→「●イベント：Lady Nobody」

◆ちんぴら風の男

〈社会：ストリート、警察〉

- 12 目撃されたというちんぴら風の男は、河渡連合二階堂組の構成員のようだ。
- 15 だが、該当の【構成員の行方】は現在不明となっている。組の事務所からもここ数日姿を消しているようだ。

◆構成員の行方

〈社会：ストリート〉

- 16 どこかに潜伏しているようだが、その足取りを追うことはできない。どうやら、二階堂杏璃直々の命令を受けて行動しているらしい（※アンタックチャブル《不可触》が使用されている）。これについては、本人に聞かねばわからないだろう。

◆羅生門メンバーの死体

〈社会：ストリート〉〈医療〉〈知覚〉

- 12 ウルザとともに姿を消していた下部メンバーで間違いない。本人の意思に反して襲いかかってきたように見えたが……。
- 15 脳内に小さなアヤカシが潜伏していた。これに操られていたと考えるべきだろうが、サンプルが一例では正体を確定することは出来ない。[アヤカシの正体：フラグA]を入手。

◆アヤカシの体液

〈社会：アストラル、ストリート〉

- 10 分析の結果、唾液ではないか、と判断された。だとすれば脳を喰らうアヤカシ、という見方が最も適切であるだろう。
- 12 N◎VAには脳のみを喰らうアヤカシの数は少ない。その食性上、サロンのようなアヤカシのコミュニティでも保護しきれないためである。
- 15 だが、まがりなりにも存在する闇の秩序を気にしないような組織があれば、そこに紛れ込むことは可能だろう。例えば羅生門のような。

◆ストリートギャング

〈社会：ストリート、警察〉

- 12 ストリートを中心に聞き込みを行なった結果、死体は新興ストリートギャング、羅生門の下部メンバーであることが判明した。
- 15 暫く前から、チーム内にある小グループのリーダー格である【ウルザ】という少年とともに姿を消しているひとりであるらしい。

◆正体不明のドラッグ

〈社会：ストリート、テクノロジー、警察〉

〈製作：ドラッグ〉

- 12 ハウンドのDBに該当の薬品がない、新型ドラッグ。だが、ストリートでも出回っていないようであり、出自が不明である。
- 14 酩酊成分のほかにはナノマシンを破壊するナノマシンが含まれており、これによってIANUSの残存データが破壊されているようだ。
- 16 ストリートで作成できる技術レベルを超えている。【メガコーボ】の関与が疑われる。

◆メガコーボ

〈社会：企業、ストリート〉

- 21 ヘイロン・ケミカルが開発中とされる拷問用薬物にその内容が酷似している。これは関係者以外が入手できるものではなく、そのため事件の裏側にはヘイロン・ケミカルが関与している疑いが強いと考えられる。

◆ウルザ

〈社会：ストリート、警察、アストラル〉

- 10 ストリートギャング、羅生門のメンバー。暫く前にふらりとN◎VAに現われ、瞬間に数人の取り巻きを作り羅生門で八鬼衆と呼ばれる幹部に成り上がった。暫く前から、取り巻きたちとともに姿を消している。
- 12 羅生門の八鬼衆は全員がアヤカシである、と言われる。これはストリートでは噂レベルだが、実際には疑いようのない事実だ。
- 14 彼もまたアヤカシであることは間違いないところだろう。なお、常に首から口元までを布で覆っており、誰も彼が何かを食べているのを見たことがないという。
- 16 現在、その足取りは完全に消え去っている。何者かが《^{アンタローグ}完全偽装》を使用してアドレスを隠蔽しているようだ。

◆誰でもない少女

〈社会：社交界、企業、アストラル〉

- 11 聖ミシェル学園で囁かれる噂話のひとつ。他の噂話に比してごく最近囁かれるようになったものの。
- 13 学園内で数件目撃証言がある。あとで思い返すと学園内にいないはずの少女と会話をした、と言う話もある。
- 15 幽霊話ならばただの噂話で済むが、もし生きている人間だとした場合、何らかの目的で学園に潜入している、と言う可能性もある。詳しく調べてみる必要があるだろう（以降、【誰でもない少女2】が調査可能となる）。

◆誰でもない少女2

〈知覚〉など

制御値+8〈偽りの顔〉を使用していた。ヘイロン・ケミカルのクグツ、【“仕立て屋” 針】だ。

◆消えた死体

〈社会：警察〉〈医療〉〈知覚〉

- 14 ストリートをゾンビのように歩く死体を発見、確保に成功した。脳髓が消失したはずの死体の頭蓋内に、タコのようなアヤカシが潜伏していた。これに操られていたと考えるべきだろう。[アヤカシの正体：フラグB] を入手。

◆“仕立て屋” 針^{ジエン}

〈社会：ストリート、企業〉

- 14 ヘイロン・ケミカルの作業員。“仕立て屋” の名の通り、アンジェリーナ・ショーの“着替え” を用意することを専門とする。

- 16 現在は配下の“柩” と共にウルザと呼ばれるアヤカシと手を組み、聖ミシェル学園に潜伏している。元々は“学園の白薔薇” と名高いクラウド・ディア・イワサキを狙っていたようだが、彼女の行方が不明となり次の獲物を探しているようだ。

◆“柩”

〈社会：ストリート、企業〉

- 14 針と行動を共にするマキノイド。主に出来上がった“着替え” を運搬することを専門とする装甲車のクロガネで、防御能力に長ける。

◆アヤカシの正体

（※ [アヤカシの正体：フラグA&B] が揃った）

〈社会：アストラル〉

- 17 【イリシッド】と呼ばれる海魔の一族だ。

◆イリシッド

〈社会：ストリート、アストラル〉

- 12 またの名をマインド・フレイヤというアヤカシ。人間の脳を喰らい、また脳に幼体を寄生させた人間を操る力を持つ。
- 15 羅生門のウルザと呼ばれる少年が、このイリシッドであるようだ。

◆二階堂杏璃の行方

〈社会：ストリート、警察〉

- 15 学園の地下、秘密のクローゼットと呼ばれる開かずの間の奥に隠れ家が作られている。クライマックスへ。

クライマックスフェイズ

CLIMAX PHASE

●クライマックス1: Secret in the Closet

◆解説

クライマックスフェイズ。

カット進行となる。

◆描写

学園で噂される秘密のクローゼット、と呼ばれる開かずの間。単に設備の問題で物置となっていた筈の部屋の中には、知らぬうちに外へとつながる通路が設けられていた。

そしてその通路は、斑鳩の片隅にある企業ビルへと繋がっていた——ヘイロン・ケミカルの隠れ家のひとつだ。

キミたちが踏み込んだ度その時、杏璃の脳にウルザが喰らいつこうとしていた！

▼セリフ：針

「(キャストたちに気付き) ……おや？ お客さんのようですよ、ウルザさん？」

「面倒な連中を呼び込んでしまったようですね？ 食事は中止です？ 先に彼らを片付けてしまいましょう？ 柩？」

「構いませんよ？ “着替え” としては使えそうにないですが……好きになさい？」

▼柩

『——了解だ、“針”』

『Start your Engine !』

▼セリフ：ウルザ

「……いいよ。ボクは美味しいものは後にとっておく派だからね」

「こいつらをオードブルにいただいて、そのあとあの黒い女の子を食べて、最後に白い女の子を食べよう」

「……楽しみだなあ」

▼セリフ：二階堂杏璃

「『②レッガー』に) お、お前ら……！？ なんてこんなところに！」

◆カット進行

敵は“仕立て屋” 針、柩、ウルザ。

“針” と柩はキャストたちと中距離で同一エンゲージ。ウルザは同じく中距離で別のエンゲージに配置すること。

キャストが強力であれば、ウルザに操られたトループ(『吸血鬼の眷属』TOS146 ページ) 20人×2を追加で配置してもよい。

◆結末

敵を全滅させたらシーンを終了する。

エンディングフェイズ

ENDING PHASE

●エンディング1: 酒吞共宴

シーンプレイヤー：『④カタナ』

◆解説

『④カタナ』のエンディング。

酒吞童子が今回の顛末を聞きに、『④カタナ』のもとへ酒を持って現れる。

酒吞童子は『④カタナ』を八鬼衆に誘う。

◆描写

「『④カタナ』。いるんだろう」

再び、訪いを告げる声。直後、断りもなく入ってきた酒吞童子は、やはり片手に酒瓶を提げていた。

▼セリフ：酒吞童子

「呑みに来たぜ。肴は用意できてるんだろう？」

「つと、焦りすぎたな。まあ、先ずは一杯だ(『④カタナ』に盃を渡し、酒を注ぐ)」

「(『④カタナ』の話を聞き) 随分面白え話だったみたいだな。やはり、俺も出ればよかったか」

「まあ、終わったことだ。酒が旨ければそれでいい。おまえもいるしな」

◆結末

「ああ、そうだ、『④カタナ』よ」

そろそろお開きになろう、と言う頃、酒吞童子はふと思いついたように言う。

「八鬼衆、とかいうやつが席がひとつ空いたらしい。おまえ、なってみる気はないか？」

『④カタナ』がどんな反応をするにしろ、酒吞童子は満足げに笑い、「おまえならそう言うと思っていた」と囁く。

『④カタナ』の反応を確認して、シーンを終了すること。

●エンディング2: 獵犬は眠らない

シーンプレイヤー：『③イヌ』

◆解説

『③イヌ』のエンディング。

ジャンヌ・デファンス・ヴェイユとの会話。

◆描写

ブラック・ハウンド基地、ナイトハウンド隊室。
ジャンヌ隊長はキミの報告を聞き、ゆっくりと頷いた。

▼セリフ：ジャンヌ・デファンス・ヴェイユ

「ご苦労だったな。やはり君に任せたのは正解だった」
「霊的殺人事件の大半は不可能犯罪、と言うわけではない……が、対処の方法を間違えれば面倒なことになる案件がほとんどだ」

「我々を胡^ろ乱な目で見える者も多いが、しかし、この先我々の出番はまた増えていくだろう」

◆結末

「その時に動きやすくしておくためにも、一つ一つの事件を確実に解決していくのが今の課題だな。牙を抜かれるわけには行かんのさ……頼むぞ、『③イヌ』」

そう言ってジャンヌが立ち上がろうとした時、デスクのDAKが新たな事件を告げる。

「……どうやら、休む時間はないようだな。『③イヌ』、行けるか？」

『③イヌ』の反応を確認して、シーン終了。

●エンディング3：聖ミシエルの黒薔薇

シーンプレイヤー：『②レッガー』

◆解説

『②レッガー』のエンディング。

二階堂杏璃との会話を想定している。

◆描写

事件は解決し、杏璃の不審な様子の謎も解けた。
そして、キミが聖ミシエル学園を離れる日がやってきた。

「『②レッガー』先生（さん）！ お待ちください！」

学園を出ようとしたその時、二階堂杏璃が駆け寄ってきた。

▼セリフ：二階堂杏璃

（ベルソナをレッガーに変える）「……まあ、その、なんだ。世話になったな」

「お蔭でダチを助けられた。ありがとうな」

「……な、なんだよ、なんかおかしいか？」

◆結末

「……あー、コホン」

杏璃は周囲を見渡したのち、咳払いをして居住まいを正す（ベルソナをミストレスに変える）。

「ごきげんよう。いずれまた、お会いしましょう」

そこには、確かに。聖ミシエルの誇る、学園の黒薔薇の姿があった。

『②レッガー』の反応を確認して、シーンを終了すること。

●エンディング4：名探偵、その名は『①フェイト』

シーンプレイヤー：『①フェイト』

◆解説

『①フェイト』のエンディング。

再び聖ミシエル学園に招かれ、エリオット・イワサキに礼を述べられる。

◆描写

聖ミシエル学園、貴賓室。

再びこの部屋にやってきたキミの前には、やはりエリオット・イワサキと聖ミシエル学園の学園長がいる。

▼セリフ：エリオット・イワサキ

「『①フェイト』さん。流石に学園長が推薦する名探偵です」

「貴方のおかげで、娘も無事に戻りました。しかし、まさか裏にあのような陰謀が隠れていたとは……」

「娘もいい友人を持ったとはいえ、貴方がいなければどうなっていたことか」

（ブラチナムを差出し）「約束の成功報酬です。また何かありましたら、ぜひあなたにお願いしたい」

▼セリフ：学園長

「私も紹介した甲斐がありました。面目もたった、と言うところでしょうか（微笑む）」

「学園の生徒を救ってくださったこと、私からもお礼を申します」

◆結末

エリオットは立ち上がり、『①フェイト』に右手を差し出す。

「ありがとうございました。いずれまたお会いしましょう、『①フェイト』さん……いや、名探偵『①フェイト』」

『①フェイト』の反応を確認して、シーン終了。

以上で本シナリオは終了となる。

「仕立て屋」針

クグツ○、タタラ●、カゲ

▼設定

「着替えは一品ものですから？ 真心込めて作らせていただきますね？」

外見年齢 17 歳、女性？

ヘイロン・ケミカルの作業員。アンジェリーナ・ショーの“着替え”を作ること専門とする作業員。

彼女自身の肉体もそうして作られながら C E O のお気に入りとならなかったもののひとつであり、元の性別や年齢は不明。

▼神業

完全偽装■ タイムリー□ 不可知□

▼能力値

理性：9 / 14 感情：2 / 14

生命：8 / 14 外界：5 / 12

CS：10 (AR：1)

▼技能

★白兵

5 ♣ ♣ ♣ ♣

★回避

2 ♣ ♣ ♣ ♣

★自我

2 ♣ ♣ ♣ ♣

知覚

2 ♣ ♣ ♣ ♣

※実験体

4 ♣ ♣ ♣ ♣

※実験体Ⅱ

5 ♣ ♣ ♣ ♣

※偽りの顔

2 ♣ ♣ ♣ ♣

※パーソナルバリア

2 ♣ ♣ ♣ ♣

※飛刃

4 ♣ ♣ ♣ ♣

※戒めの鎖

3 ♣ ♣ ♣ ♣

※変異抜刀

2 ♣ ♣ ♣ ♣

※強化手術

2 ♣ ♣ ♣ ♣

※パーソナルバリアⅡ

2 ♣ ♣ ♣ ♣

※毒術

4 ♣ ♣ ♣ ♣

※死の長き手

2 ♣ ♣ ♣ ♣

※業物

2 ♣ ♣ ♣ ♣

※タイムマジック

3 ♣ ♣ ♣ ♣

▼アウトフィット

・グラス BEE..... 隠：15 / 電：13

攻：1 + 0

ピッチャー (『BTD』p99) により射程：

近。投擲用。虎倒水 (『BTD』p119)

が入っている。3 本所持。

・石火..... 隠：16 / 電：12

攻：X + 1 射：近 2 本所持。

・インナーアーマー..... 隠：16 / 電：15

※防 (S/P/I)：0 / 1 / 1

▼戦闘プラン

最初のセットアップに〈実験体〉〈実験体Ⅱ〉〈強化手術〉〈業物〉。

すべての能力値 + 3、防御力 + 5、CS + 12。

最初のイニシアチブタイミングで〈不可知〉。もっともキャストの多い中

距離までのエンゲージに〈白兵〉〈飛刃〉

〈変異抜刀〉〈毒術〉〈死の長き手〉

〈※タイムマジック〉で虎倒水入りのグラス BEE を投げつける。

ダメージ + 4 + [差分值]。命中し、ダメージを算出した結果 1 点でもダメージが入るなら代わりに「BS：邪毒 (3)」と「BS：酸酒 (大)」を与える。〈毒術〉の効果で、即座に邪毒 (3) のダメージを適用する。

以降のメジャーアクションも同様。もしグラス BEE が尽きたら石火を使用すること。

攻撃に対しては〈回避〉。〈タイムリー〉は防御的に使用すること。キャストの防御系神業が潤沢であれば攻撃に使用してもよい。

「イリシッドのウルザ

アヤカシ○●、カリスマ、マヤカシ

▼設定

「キミは結構美味しそうだ。ちょっと脳を吸わせてくれないかな」

外見年齢 10 代後半。男性。

イリシッド、またはマインド・フレア、脳喰らいなどと呼ばれるアヤカシ。カムイ ST ☆ R からより美味な脳を求めてトーキョー N ◎ VA へと訪れ、隠れ家求めて羅生門に入った。

その後“針”と出会い、利害が一致したことから彼女に協力している。

▼神業

霧散□ 神の御言葉□ 守護神□

▼能力値

理性：4 / 14 感情：7 / 15

生命：3 / 10 外界：7 / 15

CS：7 (AR：1)

▼技能

★心理

5 ♣ ♣ ♣ ♣

★自我

2 ♣ ♣ ♣ ♣

★回避

2 ♣ ♣ ♣ ♣

交渉

3 ♣ ♣ ♣ ♣

※吸精Ⅱ

3 ♣ ♣ ♣ ♣

※血脈Ⅱ：海魔の一族

1 ♣ ♣ ♣ ♣

※演説

5 ♣ ♣ ♣ ♣

※恐怖

3 ♣ ♣ ♣ ♣

※吸精

3 ♣ ♣ ♣ ♣

※血脈：海魔の一族

2 ♣ ♣ ♣ ♣

※圧迫の尋問

1 ♣ ♣ ♣ ♣

※幻覚

2 ♣ ♣ ♣ ♣

※洗脳

4 ♣ ♣ ♣ ♣

▼アウトフィット

・ミラージャケット..... 隠：11 / 電：-

レーザー武器を用いた攻撃で受ける肉体ダメージを 10 点軽減する。

・魔血の衣..... 隠：-/ 電：-

防御力に + [〔血脈〕レベル + 1] (計算済み)。

・五星手..... 隠：15 / 電：-

マヤカシのスタイル技能を組み合わせた

攻撃で与えるダメージに +3。

※防 (S/P/I)：5 / 5 / 6

▼戦闘プラン

戦闘開始時に『④カタナ』など戦闘力の高そうなキャストに〈神の御言葉〉を宣言。〈※洗脳〉を試みる。

最初のセットアップは行動なし。ただし、キャスト強力なセットアップ

特技があれば〈圧迫の尋問〉で妨害する。達成値 +5。

2 カット目以降のセットアップでは、防御系キャスト以外のキャストに対し〈海魔の一族〉を使用する。

メジャーアクションでは〈心理〉〈交渉〉〈吸精〉〈吸精Ⅱ〉〈幻覚〉。射程が届かなければ〈恐怖〉を組み合わせ、そうでない場合は〈※洗脳〉を与えさせること。

攻撃に対しては〈回避〉。ゲストの誰かが致命的なダメージを受けたら 1 回だけ〈血脈Ⅱ：海魔の一族〉を使用して判定に [使用したカードの数字] 点ダメージを軽減する。

〈※洗脳〉が成功したらキャストを攻撃させること。

「枢

クログネ○、カプト●、カゼ

▼設定

「行くぞ“針”。Start your Engine !」

男性格。

“針”が作成した“着替え”を輸送するための装甲車両のクログネ。

妨害者を排除し、“着替え”を守るための武装が搭載されている。

▼神業

万能道具□ (※効果は〈タイムリー〉)

難攻不落■ 脱出■

▼能力値

理性：7 / 14 感情：4 / 11

生命：7 / 14 外界：3 / 10

CS：9 (AR：1)

▼技能

★白兵

4 ♣ ♣ ♣ ♣

★射撃

4 ♣ ♣ ♣ ♣

※操縦：ヴィークル

4 ♣ ♣ ♣ ♣

※フォルム：ヴィークル

3 ♣ ♣ ♣ ♣

※マニピュレータ

4 ♣ ♣ ♣ ♣

※MMI

5 ♣ ♣ ♣ ♣

※スピードエンハンス

1 ♣ ♣ ♣ ♣

※曲芸走行

2 ♣ ♣ ♣ ♣

※迎撃システム

4 ♣ ♣ ♣ ♣

※自動防御

2 ♣ ♣ ♣ ♣

※八重垣

3 ♣ ♣ ♣ ♣

※エキサイトバトル

2 ♣ ♣ ♣ ♣

※フェイントターン

4 ♣ ♣ ♣ ♣

▼アウトフィット

・クリスタルウォール..... 隠：-/ 電：15

攻：1 + 2 受：5

スタン攻撃可能。4 枚所持。

・バーストビラー..... 隠：-/ 電：18

攻：1 + 13 射程：近-遠

・ダークタンブラー..... 隠：-/ 電：17

攻：1 + 11 SF：3(4)

“本体”として指定済。セットアッププロセスで使うことでそのカットの終了時まで SF をカッコ内に変更する。

※防 (S/P/I)：13 / 12 / 15

▼戦闘プラン

セットアップにダークタンブラーの加速機能を使用。SF を 4 に。

メジャーアクションでは射程内のキャストひとりに対し〈射撃〉〈十

エキサイトバトル〉で攻撃。達成値 +5、ダメージ + [差分值]。

攻撃に対しては〈迎撃システム〉を組み合わせリアクション。

他人への物理攻撃には〈自動防御〉を組み合わせ、達成値 +5、ダメージ 5 点軽減。ダメージが大きそうならカットに 1 回まで〈八重垣〉でクリスタルウォール 4 枚を使用して受け、ダメージ 20 点軽減。

近距離までの相手には、4 回まで〈フェイントターン〉による妨害を行なえる。達成値 -4。

ダメージを受けたらカットに 1 回まで〈曲芸走行〉で軽減すること。

■本作品について

本作品は、株式会社エンターブレインより刊行された『トーキョーN◎VA THE AXLERATION』や、その関連商品を取り扱った二次著作物（シナリオデータ）です。

『トーキョーN◎VA THE AXLERATION』とその関連商品、および『ゲーマーズ・フィールド誌』は、有限会社ファースト・アミューズメント・リサーチの著作物です。

本書の内容はフィクションであり、実在する歴史上の人物、団体、地名などとは一切関係がありません。

また、本書は特定の思想、信条、宗教などを擁護あるいは非難する目的を持って書かれたものではありません。

■利用規定

本作品は無料で自由にアクトに利用することが出来ます。

ただし、シナリオを使用した際には必ず、作者にシナリオやアクトの感想を送ってください。

シナリオ製作者にとって、なによりの励みは感想を貰えることです。

ホームページ (<http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/>) の各シナリオのダウンロードボックス内のツイートボタンを押し、感想ツイートを投稿してください。

(このため、本シナリオを使用するには twitter アカウントが必要になります)

また、シナリオの利用の際には以下の規約をお守りください。

- ① シナリオの著作権は各シナリオの作者にあります。
- ② シナリオの再配布、商用利用はご遠慮ください。
- ③ 投稿されているシナリオを利用したリプレイやプレイ動画の公開、あるいはコンベンションイベントでの使用など、特殊な使い方に関しては事前に作者に連絡を取り、可否を確認してください。

トーキョーN◎VA THE AXLERATION 投稿型シナリオ共有サイト

NeuroCrowD

投稿シナリオ No.017 『Secret in the Closet』

発行日：2015.6.30

執筆（著作権者） 生方一寛

イラスト なし

企画 ニューロ／CD製作委員会

DTP まだら牛

素材 Z-design

連絡用メールアドレス：dapple_ox@gmail.com

サイトURL： <http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/>